

令和3年度学校保健・学校安全・学校給食表彰及び
養護教諭制度80周年記念学校保健功労者表彰
(文部科学大臣表彰) について

1 表彰の趣旨

学校保健及び学校安全の普及と向上に尽力し多大の成果をあげた個人、学校及び団体、並びに学校給食の普及とその充実を図るため、学校給食の実施に関し、優秀な成果をあげた学校、共同調理場、功績のあった個人及び団体を文部科学大臣が表彰します。

また、本年度は養護教諭制度80周年を記念し、長年にわたって学校保健の普及と向上に顕著な功績のあった養護教諭を文部科学大臣が表彰します。

2 本県の被表彰者（令和3年度学校保健、学校安全及び学校給食表彰（文部科学大臣表彰））

① 学校保健関係

〔個人〕 大澤 英一（おおさわ えいいち）学校医

昭和62年から、大和郡山市立郡山東中学校をはじめ、大和郡山市立平和幼稚園、大和郡山市立治道こども園で通算30年以上、長きにわたり校（園）医を継続して務められ、児童生徒の健康増進に寄与されている。平成4年2月から平成6年1月までは大和郡山市医師会理事、平成18年3月から平成20年2月までは同医師会会長を務められた。また、平成4年3月から平成20年2月までは、奈良県医師会理事、平成20年3月から平成29年6月までは同医師会副会長、平成20年3月から平成29年3月までは同医師会学校医部会部会長、平成29年4月から6月までは同医師会学校医委員会委員長を務められた。

学校医の資質向上のための活動を総括し、食物アレルギーや運動器検診に関する諸問題について教育委員会等の学校保健関係者と緊密な連携をとりながら、学校検診等の円滑な実施に多大な貢献を果たしてこられた実績が評価されての受賞となった。

〔個人〕 藤本 吉孝（ふじもと よしたか）学校歯科医

氏は朝和幼稚園、豊井幼稚園、朝和小学校の学校歯科医を44年の永きにわたり務め、学校保健の発展向上に尽力したほか、児童・生徒の口腔衛生知識の普及啓発に積極的に取り組み大いに

貢献された。

また、学校歯科医として口腔衛生の知識の普及を図り、さらに、8020 運動の普及や健康なら21 計画を積極的に推進し、健康増進法にも精力的に取り組み、学校保健活動に大いに貢献された実績が評価されての受賞となった。

〔個人〕 北川 恵昭（きたがわ しげあき）学校薬剤師

平成2年より奈良県立高田高等学校の学校薬剤師を30年以上務め、学校環境衛生の向上に努めてきた功績は顕著である。また、大和高田市の学校薬剤師としても長年にわたり、複数の幼稚園や小学校の学校薬剤師を歴任し、児童の保健管理ならびに学校保健の向上に貢献された。また、平成13年より奈良県学校薬剤師会理事および高田支部長を務め、長年、支部内で指導的役割を担い、支部内の学校薬剤師と相互協力し、地域における学校保健活動の向上に尽力し、児童生徒の健康維持に貢献して来られた。

氏は学校保健関係の研修会にも積極的に参加し、常に情報収集・質の向上に努めるとともに、後輩の指導育成に取り組み、学校薬剤師部会活動にも多大なる貢献をしてきた功績は大きい。大和高田市の学校薬剤師活動において、長年、地域における公衆衛生・学校環境衛生活動の中心的役割を担い、学校保健の向上に貢献しており、地域の後輩の指導育成に取り組んでいる。また、奈良県薬剤師会においては、学校薬剤師部会の幹事・高田支部長として、地域における会員をよくとりまとめ、学校薬剤師部会の運営を円滑に遂行できるよう尽力してきた。また、奈良県薬物乱用防止指導員としても、啓発活動に積極的に取り組んでいる事などが評価されての受賞となった。

〔個人〕 上村 陽代（かみむら はるよ）養護教諭

学校内では、養護教諭として教職について以来、児童生徒の怪我の治療や病気の対応はもとより、子どもや教職員の相談相手になり、悩みを聞き、示唆を与えるなど心のケアやカウンセリングなども幅広く実践している。カウンセリングやコーチングなどの専門的な研究に励み実践し、この分野でも実績を積んでいる。これら積み上げと爽やかで豊かな人間性で周囲の教職員からの信望も厚く、子どもたちや保護者からの信頼も厚い。また、学校全体の保健指導や性教育に於いても、各学年担当者と協働で先頭に立って積極的に取り組み、成果をあげている。

また、学校外においても養護教諭として、多岐にわたる研究を積み実践する中で、市内及び県内の養護教諭に助言を行うなど、保健指導のみならず学校教育の発展に貢献してい

る。香芝市に着任して、香芝市養護教育研究会及び奈良県養護教育研究会において、これまでの研究を継続し、自身の実践内容を報告・啓発して市全体・県全体の養護教育の充実・発展に寄与している。(平成22年には、全国養護教育研究大会において、奈良県代表の報告者として、第6課題「性に関する教育」で報告を行った。)

奈良県養護教育研究会の役員(会計2年間、副会長4年間)を務め、会長を補佐し、会の充実発展に貢献した。令和元年度には、奈良県学校保健会養護教員部会と近畿養護教諭研究協議会主催の「近畿養護教諭研究協議会(奈良大会)」の実行委員長を務め、2日間で1,800人の参加者を集め成功に導いた事などの実績が評価されての受賞となった。

② 学校給食関係

〔個人〕 山中 淳代(やまなか あつよ) 栄養教諭

平成4年4月から平成19年3月まで県内の小学校で学校栄養職員として、平成19年4月からは栄養教諭として安全・安心で魅力ある学校給食の実施や、学校全体で取組む食育の推進に熱心に取り組んでいる。

平成21年、25年、29年には、奈良県学校給食会及び奈良県学校給食栄養研究会が4年に1度実施している「奈良県における児童生徒の食生活等実態調査」の委員として、経年比較が可能な調査報告書の作成や、調査結果を活用した指導資料の作成に尽力した。平成26年からは、奈良県学校給食栄養研究会の運営に携わり、理事2年、副会長4年、令和2年からは会長を務める等、県内の栄養教諭等の資質向上に貢献している。第54回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会では、食に関する指導の全体計画に基づき、教職員と連携を図り、教科横断的な視点をもった食に関する指導の実践についての取組を全国に発信した。

特に、地場産物活用に向けて熱心に取り組む、学校給食の献立を活用した食育の実施及び積極的な情報発信に取り組む姿は保護者に高く評価されている事などの実績が評価されての受賞となった。

3 本県の被表彰者(養護教諭制度80周年記念 学校保健功労者文部科学大臣表彰)

〔個人〕 喜多 絹子(きた きぬこ) 川西町立川西小学校 養護教諭

本県においての勤務年数31年を超え、養護教諭としての職責を十分に果たしてきている。近年は、奈良県養護教育研究会の理事、副会長、会長と研究会に御研究推進、発展のための核となり活動している。平成25年には、代66回近畿養護教諭研究協議会京都大会では、奈良県代表として登壇し、「模擬保健指導による学びを生かした保健指導の取組」と題した研究発表を行った実績がある。公務においても、児童の怪我や疾病のケアだけでなく、心のケアにも意欲的に取り組み、学校保健室としての機能を高めている。

児童だけでなく保護者とも積極的に関わり、相談に応じるなど学校と保護者が共に児童の健康を見守っていかうとする姿勢が見られる。また、各学年学級教室において保健授業を行ったり、身体測定等の時間に健康への意識を高める話を行ったりと、児童の健康、安全に関わる知識を高め、啓発する取組を意欲的に実践している事などが評価されての受賞となった。

〔個人〕 長岡 令子（ながおか れいこ）学校法人奈良育英学園 育英西中学校・高等学校 養護教諭

長きにわたり私立学校に勤務され、その発展に尽力し、本県教育の振興に大きく寄与され、その功績により平成27年7月、奈良県知事より奈良県私立学校教育功労者として表彰された。

また、養護教諭として長年にわたって本県私立学校における学校保健の普及と向上に尽力され、その功績は顕著であり、学校保健功労者として推薦するに値する人物である。

学校の教育目標である「自ら考え行動できる自立女子の育成」を実現するために、担当する保健室での個別指導や保健委員会活動において意欲的に教育実践を行ってきた。また、生徒が課題解決スキルを身につける教育活動として中学校で実践している「コミュニケーションワーク」は、長岡教諭の発案により2008年より実施している。実施後は保健室利用が大幅に減少する成果があった。

特に、第63回近畿養護教諭研究協議会（奈良大会、平成22年開催）において、「心の健康教育推進のための取組～コミュニケーション能力の育成を中心に～」という題で研究発表を行い、養護教諭の資質向上に寄与された事など、これまでの実践が評価されての受賞となった。

〔個人〕 澤井 美智（さわい みち）葛城市立當麻小学校 養護教諭

養護教諭として採用されて以来、32年間にわたり一貫して、児童はもちろん教職員の健康と安全、命を守ることを最優先に考え勤務してきた。また、養護教諭研究会の実践発表や研修講座の受講を通して、常に最新の知識や情報を取り入れ、それらを丁寧に発信することで学校の安全管理に寄与してきた。さらに、校内だけでなく、奈良県及び葛城市の養護部会の運営にも携わり、県内の各校の養護教諭との連携を図るとともに、後進の指導・育成にも尽力している。

本年4月からは、當麻小学校の教頭として、養護教諭としての視点も大切にしながら学校運営に携わっている。

これらの実践が評価されての受賞となった。

〔個人〕 浅芝 好子（あさしば よしこ）王寺町立王寺南中学校 養護教諭

氏は、これまで企画的に研修と実践を積み重ね、王寺町並びに奈良県の保健教育、保健管理等の充実に寄与してきた。平成21年度から王寺町立王寺南中学校に勤務し、王寺町並びに北葛城郡の養護教諭のリーダーとして町内、郡内の養護教員を牽引してきた。特に、新型コロナウイルス感染症の予防対策については、町並び郡のまとめ役として、最前線に立って感染予防に尽力している。

生徒の心のケアに配慮した保健室運営を行い、常に生徒の安全・安心を第一に考え、町及び郡全体の取組を高めるために意見を取りまとめ、実践することで、多大な貢献を行っている。また、職場にひとりしかいない職であることを踏まえ、他校の若手養護教員の育成にも熱心に取り組んでいる。

4 表彰式 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

表彰伝達は各推薦母体に一任